

## 29 危機管理・リスク管理研修 I



目的	業務執行上で発生する不測事態やリスクに適切に対応できる能力を習得するとともに、リスクに強い組織構築のための知識や手法を学ぶ。		
内容	平時・有事の両場面において、危機管理・リスク管理を適正かつ戦略的に実行するための「基礎的な知識と能力」を身につける。コンプライアンスの重要性について再確認を行い、内部統制、ハラスメント防止、近年頻発している自然災害への対応方法など幅広い重要テーマについて研修を実施する。		
実施月日	令和7年11月4日(火)		
対象者	<市町村職員との合同研修>		
定員	県職員	係長級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する職員	28名
	市町村職員	係長等の職員	20名
研修講師	一般社団法人日本経営協会 講師 森 健(もり たけし)氏		
プロフィール	<p>1966年生まれ                  開成高校、慶應義塾大学法学部法律学科卒業。                  大学卒業後、静岡県下田市役所に入庁。                  税務課、建設課、総務課での勤務、静岡県庁防災局への出向を経験。                  下田市経営戦略会議の設置など内部統制導入時代を先取りした行政改革への新たな手法導入や、県庁における危機管理マニュアル策定プロジェクト責任者等の危機管理体制強化の実務に携わる。                  下田市役所退職後、2007年から自動車部品グローバルメーカーの住友電装(株)にて、リスク管理体制再構築やBCP策定、全社的な人事・労務・安全管理・採用から人材育成まで幅広く携わる。2011年から大手アウトソーシング系企業で内部統制、コンプライアンス、リスクマネジメント、上場プロジェクトの法務責任者を務める。                  2015年に独立し、官公庁や都道府県、区市町村、民間企業、大学での講義、法律書の執筆や法律雑誌への寄稿等幅広く活動している。</p> <p>主な著書：「地方自治体のリスク管理・危機管理」                  「図解 新任役員のための法務・リスクマネジメント」                  「企業法務入門テキスト ～ありのままの法務～」</p>		
昨年度受講者の声	> 危機管理について実際の実例を交えながらの講義だったため実践的な知識を学ぶことができた。		
	> 広い視点を持ち、リスクを正確にとらえ適切な対応策をとることの重要性がよくわかった。		
	> 危機管理を行う上でのポイントなどを講師の経験も交えた解説により理解できたとし、大変勉強になった。		
日程表	※名称変更(R4年度は「リスクマネジメント研修 I」名で実施) (R5年度は「危機管理・メディア対応研修 I」名で実施)		

8:50	9:20	9:30	12:00	13:00	16:15
受付	オリエンテーション	1 導入講義 グローバル&劇的变化への対応 危機管理・リスク管理の枠組み など	昼食	3 「有事」における対応方法 (1) 危機管理体制(対策本部体制)の持つ意味 (2) 有事に「動ける組織」を目指す (3) メディア対応の基本	アンケート・閉講
		2 「平時」における重点取組事項 (1) コンプライアンスの徹底 (2) リスク管理・危機管理体制の強化 (3) ハラスメント防止		4 まとめと質疑応答 (1) 「訓練でできないことは実践はできない」 (2) 質疑応答	

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、ご承知おきください。